

⑪ 層状配列

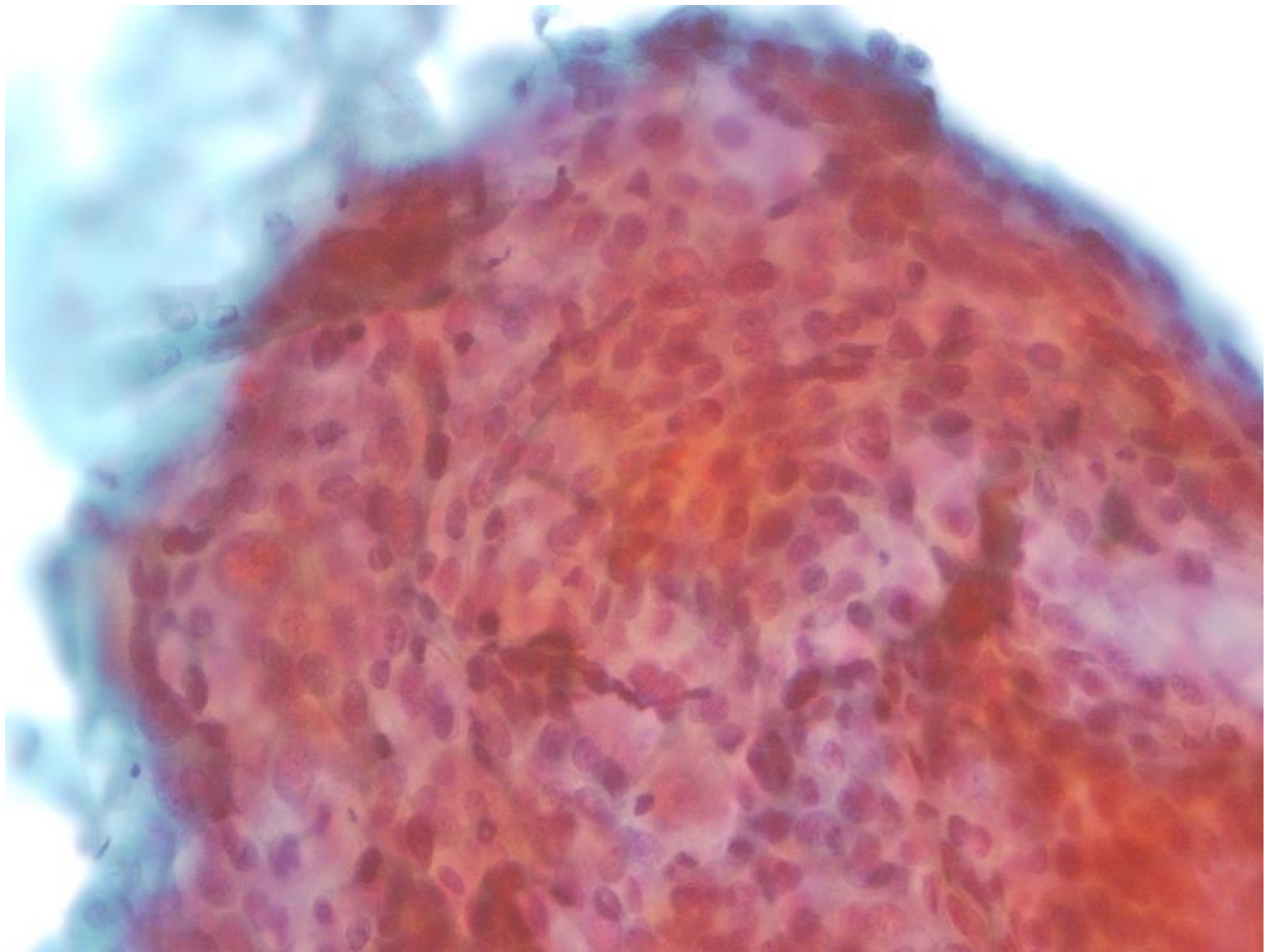
・細胞学的定義

核間距離が保たれた平面的な集塊が、重積して認められる。

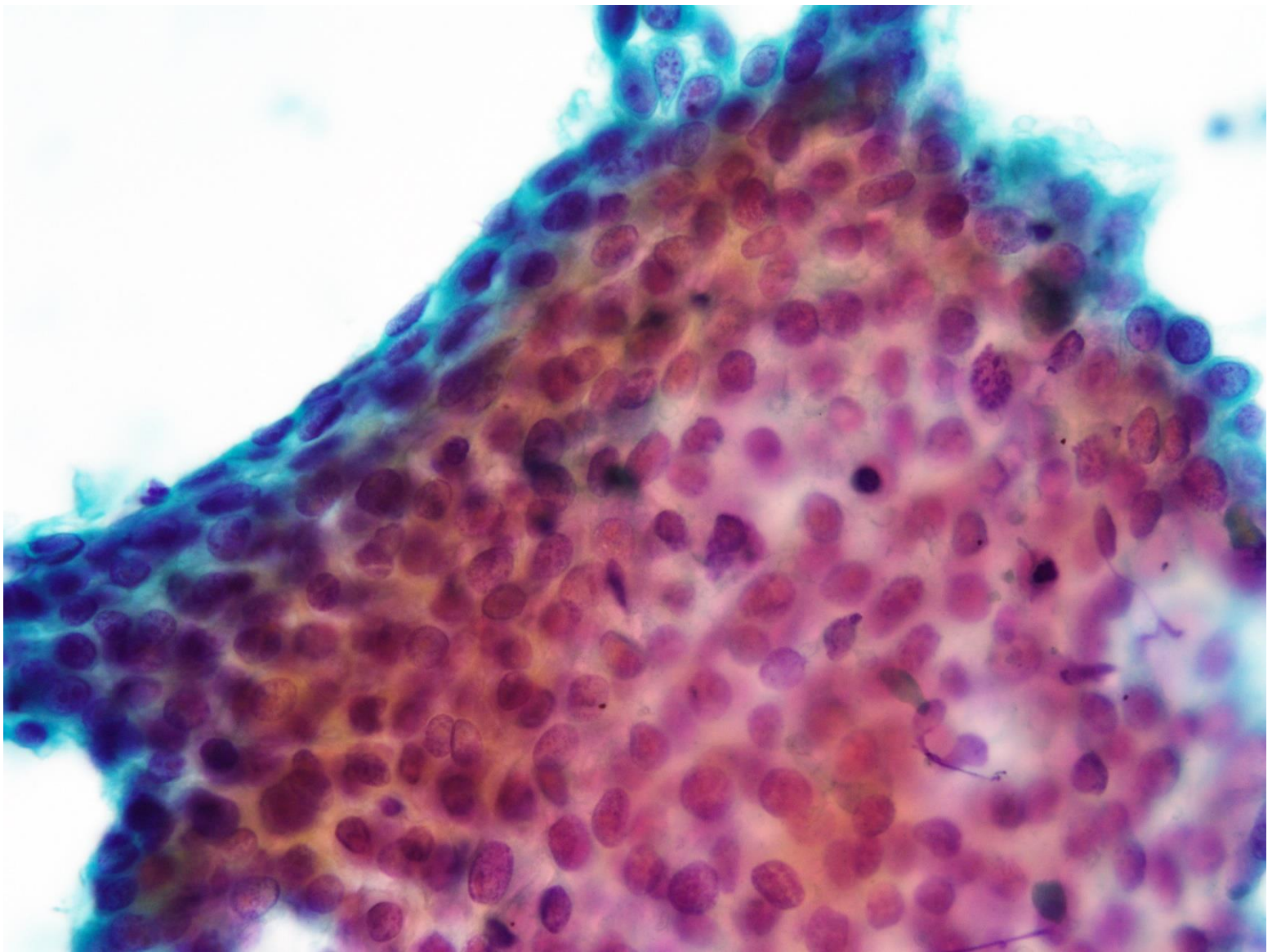
・組織型の推定と補足

組織学的に扁平上皮癌では、非角化型や類基底細胞型扁平上皮癌の一部でみられる。また、角化型扁平上皮癌でも角化や細胞間橋の不明瞭な分化の低い部分があれば、認められることがある。細胞学的にも組織像を反映して、角化や細胞間橋が不明瞭な分化の低い部分から採取された場合に認められる。扁平上皮癌の層状配列では、重積した細胞集塊中でピントを合わせた細胞部分が、規則的に配列しているのが特徴的である。

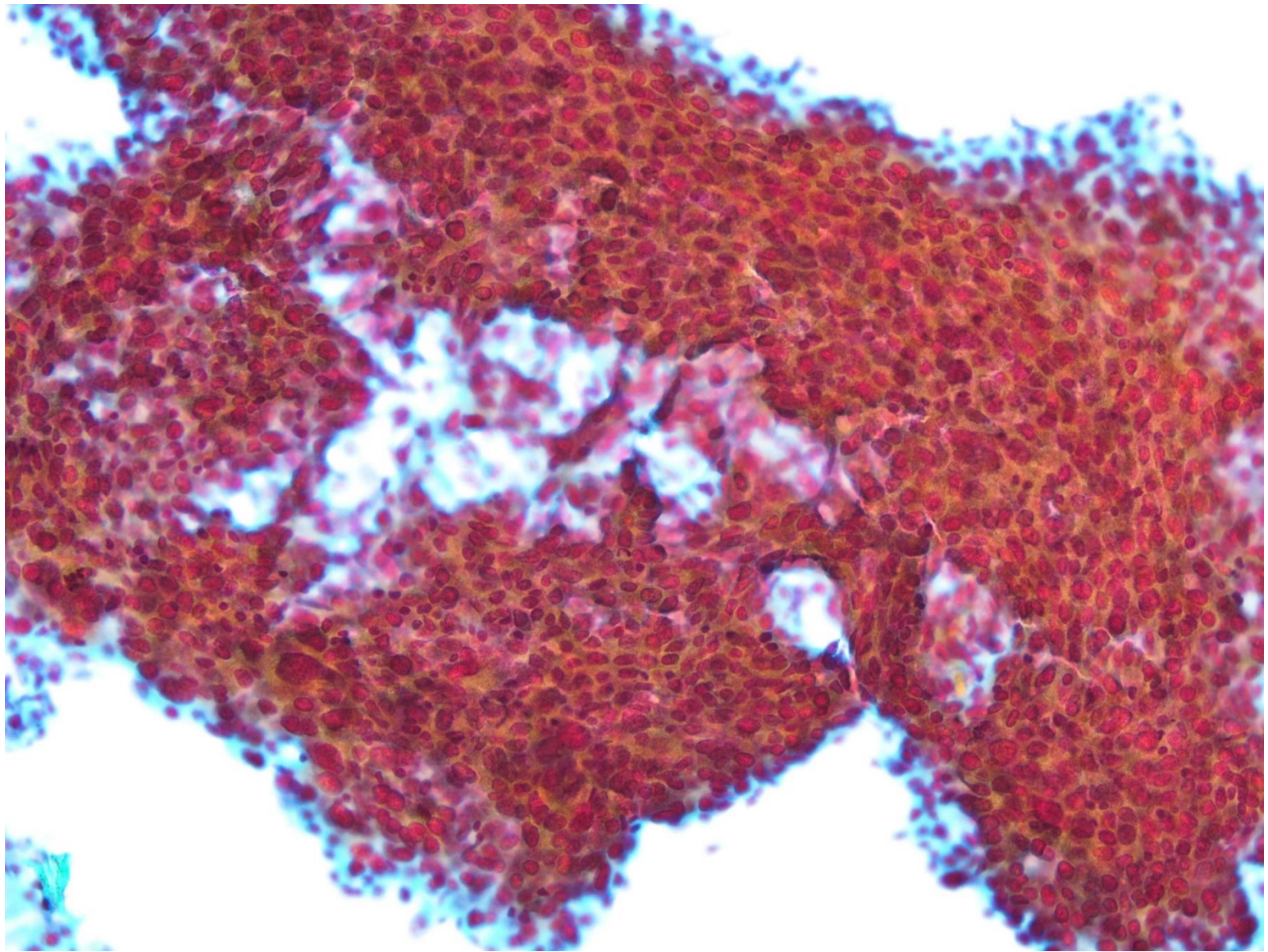
細胞学的に腺癌では、層状配列を認めることはまれである。一般的に腺癌は重積し、不規則に配列(核の極性の乱れや不規則な核間距離)しているのが特徴的である。



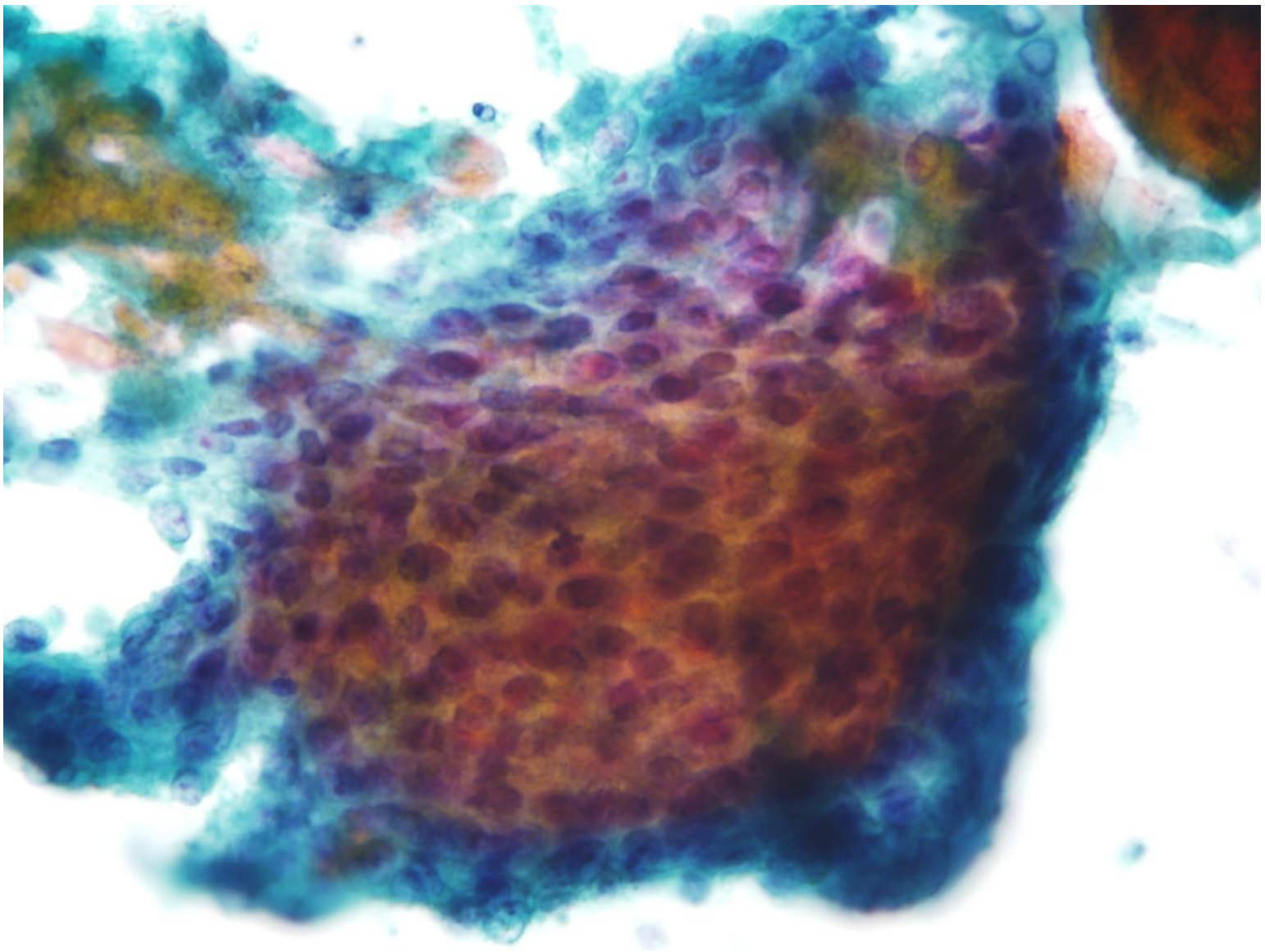
参考 ⑪-1(擦過、扁平上皮癌): 大型細胞集塊内では、類円形核をもつ腫瘍細胞が、比較的規則正しく配列している。層状配列と考える。



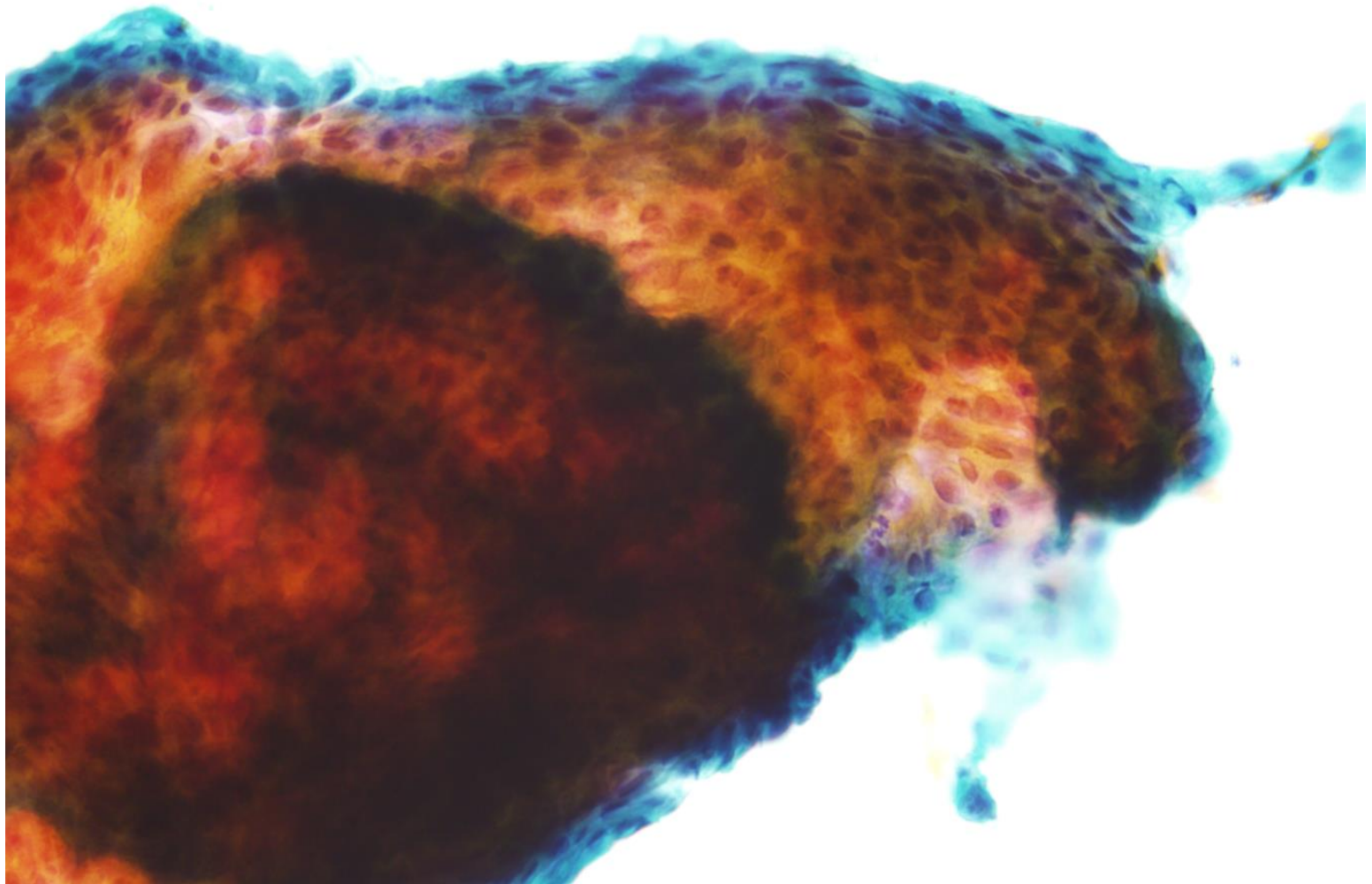
参考 ⑪-2 (EBUS-TBNA、扁平上皮癌): 大型細胞集塊内では、類円形核をもつ腫瘍細胞が、比較的均等に配列している。層状配列と考える。なお、細胞集塊の左上方では、核の扁平化が認められる。



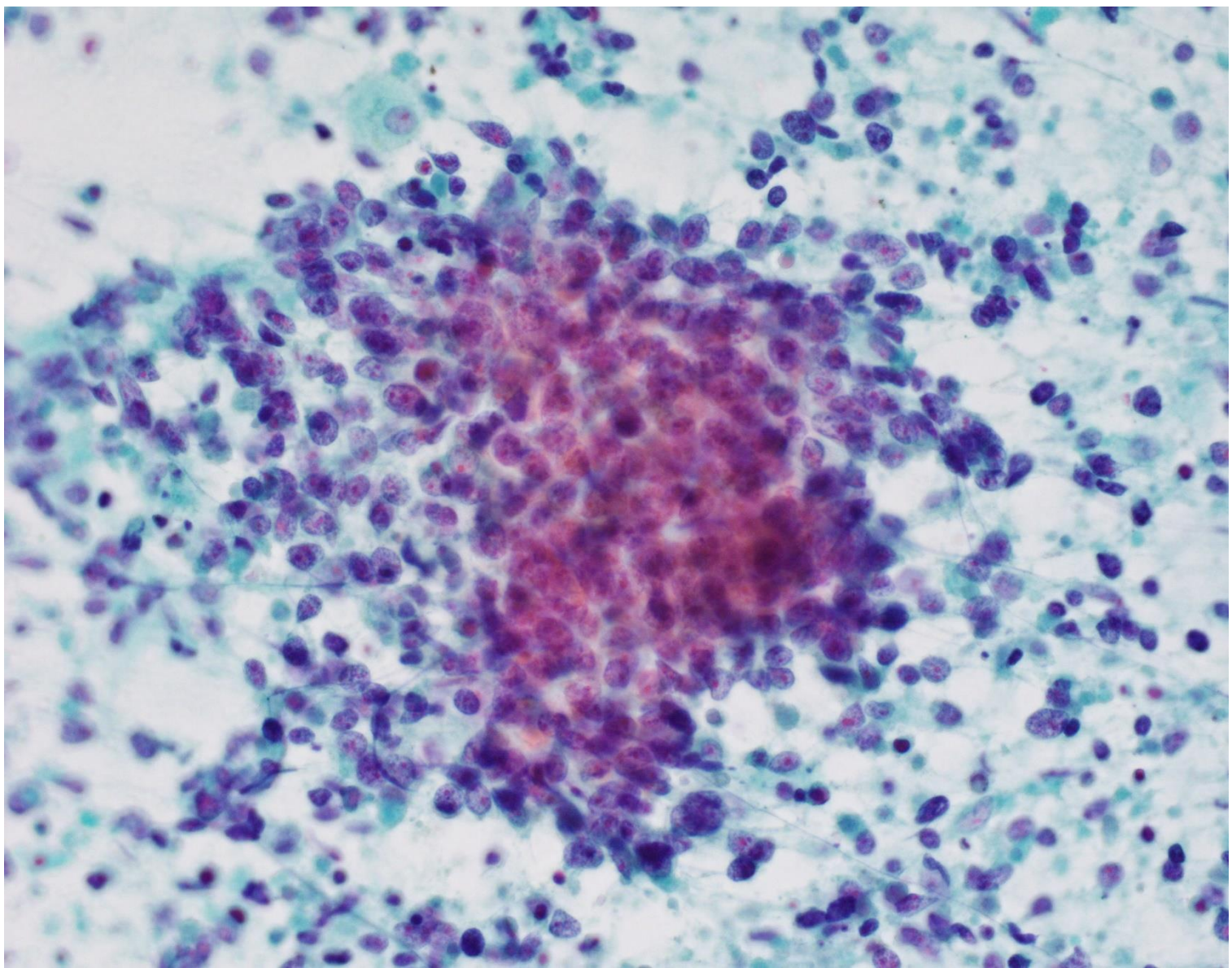
参考 ⑪-3(擦過、扁平上皮癌): 大型細胞集塊内では、類円形核をもつ腫瘍細胞が、比較的均等に、規則正しく配列している。層状配列と考える。



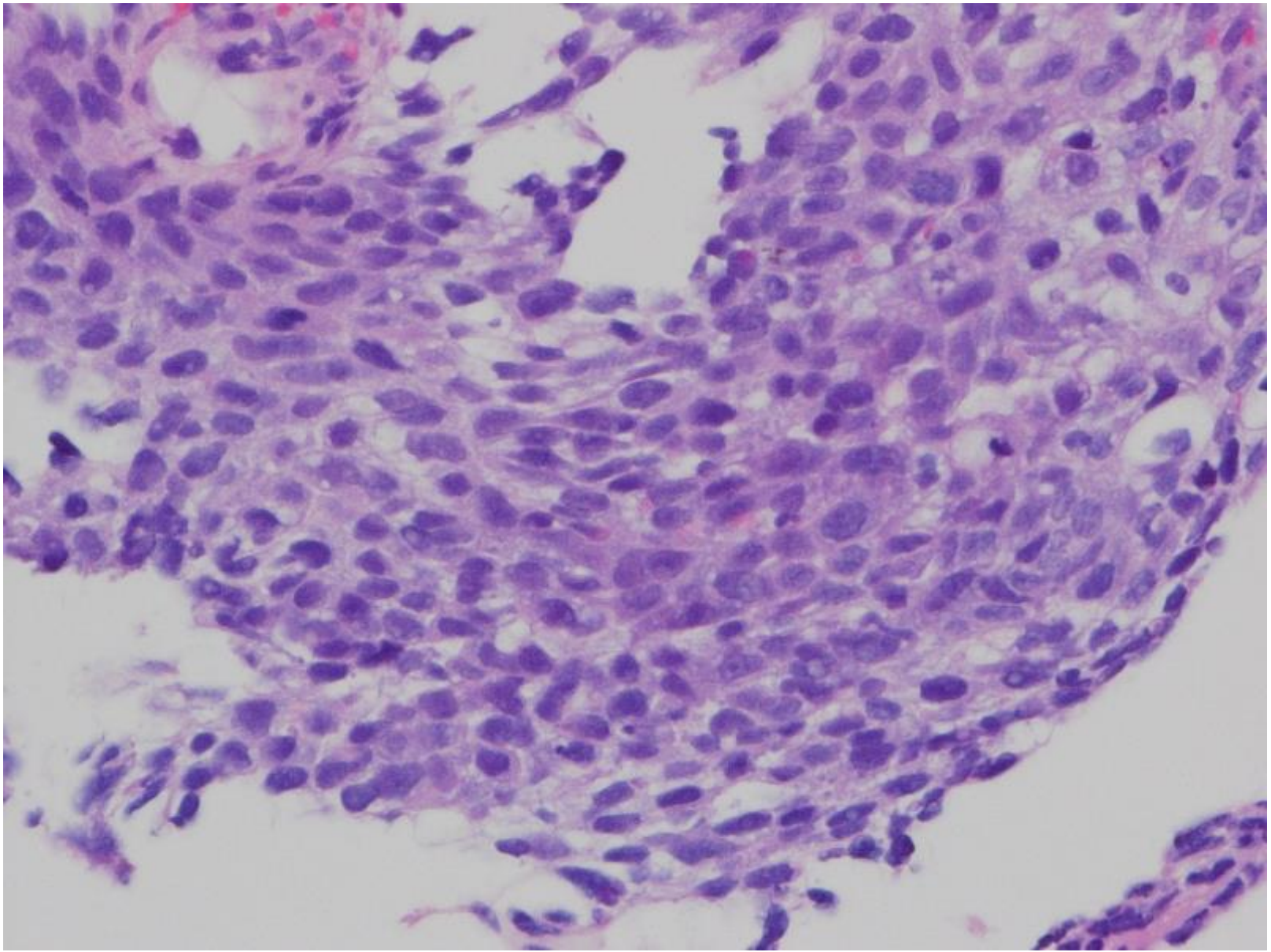
参考 ⑪-4(擦過、扁平上皮癌): 大型細胞集塊内では、類円形核をもつ腫瘍細胞が、比較的均等に配列している。層状配列と考える。



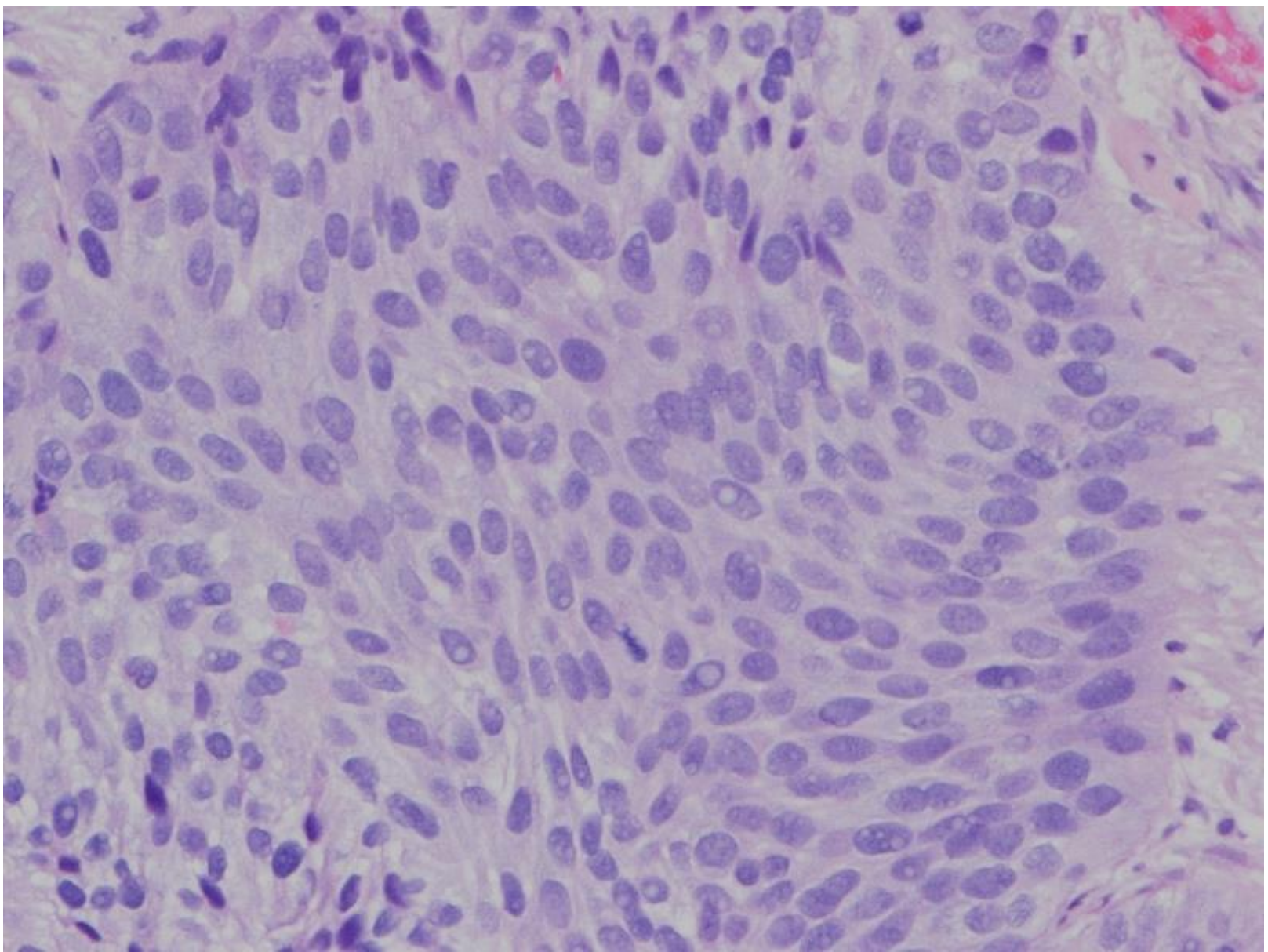
参考 ⑪-5(擦過、扁平上皮癌): 大型細胞集塊の右上方では、類円形核をもつ腫瘍細胞が、比較的均等に配列している。層状配列と考える。細胞集塊上方では核の扁平化も認められる。



参考 ⑪-6(腫瘍捺印、類基底細胞型扁平上皮癌): 大型細胞集塊では、類円形核をもつ腫瘍細胞が、比較的均等に配列している。層状配列と考える。



参考 ⑪-7(TBLB、非角化型扁平上皮癌): 角化はみられず、細胞間橋は不明瞭である。楕円形の核を有する腫瘍細胞が、比較的均等に配列している。非角化型扁平上皮癌に特徴的な組織像と考える。細胞像をよく反映している。



参考 ⑪-8(TBLB、非角化型扁平上皮癌): 角化はみられず、細胞間橋は不明瞭である。類円形や楕円形の核を有する腫瘍細胞が、比較的均等に配列している。非角化型扁平上皮癌に特徴的な組織像である。細胞像をよく反映している。